

令和6年度

事業報告書

決算書

目 次

I - I. 令和 6 年度事業報告書	
1. 事業概況（令和 6 年度を振り返って）	3
2. 総裁	3
3. 役員構成	3
4. 会員数	3
5. 会議等	4
6. 登記事項	4
7. 組織及び職員数	5
8. 恩賜発明賞・恩賜記念賞の贈呈	6
9. 発明奨励振興事業	6
(1) 全国発明表彰	6
(2) 地方発明表彰	7
(3) 「戦後日本のイノベーション 100 選」特設サイトの運営	7
10. 青少年創造性開発育成事業	7
(1) 第 83 回全日本学生児童発明くふう展	7
(2) 第 47 回未来の科学の夢絵画展	8
(3) 未来の科学の夢絵画展 ネット美術館	8
(4) 少年少女発明クラブ事業	8
(5) 第 12 回全国少年少女チャレンジ創造コンテスト	9
(6) 東京都児童生徒発明くふう展	10
(7) 青少年創造性開発育成海外交流	10
(8) 発明の日及び科学技術週間協賛事業	10
(9) 青少年創造性開発育成委員会	10
(10) 青少年創造性開発育成事業へのご協賛	10
11. 知的財産権制度普及等事業	10
12. 創立 120 周年記念式典・記念祝賀会	11
13. 地域機関との相互連携	11
14. 関係省庁への協力	11
(1) 文部科学省表彰関係事業への協力	11
(2) 特許庁知財功労賞への協力	12
15. 東京発明推進協議会の活動	12
16. 公益事業の広報活動	12
I - II. 事業報告書の附属明細書	13
II. 令和 6 年度決算書	
貸借対照表	15
正味財産増減計算書	16
正味財産増減計算書内訳表	17
財務諸表に対する注記	18
附属明細書	19
財産目録	20
収支計算書	22
収支計算書（資金ベース）	23

I-I. 令和6年度事業報告書

1. 事業概況（令和6年度を振り返って）

当協会は、令和6年に創立120周年を迎え、それを記念し正仁親王妃華子殿下の御臨席を仰ぎ記念式典を挙行了。また、我が国科学技術の振興と産業経済の発展に貢献するため、令和6年度においても引き続き、発明の奨励、青少年の創造性開発育成、知的財産権制度普及等の公益事業を着実に推進した。

発明奨励振興事業では、120周年記念式典と併せて開催した全国発明表彰において恩賜発明賞ほか各賞を贈呈するとともに、全国8ブロックにおいて地方発明表彰を実施した。青少年創造性開発育成事業においては、企業等からの協賛を得て、全日本学生児童発明くふう展、未来の科学の夢絵画展、全国少年少女チャレンジ創造コンテスト、少年少女発明クラブ事業等を実施した。

以下、令和6年度の事業について報告する。

2. 総 裁 常陸宮殿下

3. 役 員 構 成 （令和7年3月31日現在）

会 長	1 名	（代表理事）
副 会 長	6 名	（うち1名代表理事）
専務理事	1 名	（業務執行理事）
常務理事	2 名	（業務執行理事）
理 事	33 名	
監 査 役	2 名	
特別顧問	2 名	
顧 問	2 名	
参 与	1 名	
幹 事	110 名	

4. 会 員 数 （令和7年3月31日現在）

344 社・名

5. 会 議 等

(1) 定時総会

日 時 令和 6 年 6 月 27 日 13 : 15～13 : 58
場 所 霞山会館「霞山の間」
議 題 <決議事項>
第 1 号議案 令和 5 年度事業報告及び決算承認の件
第 2 号議案 理事選任の件
<報告事項>
令和 6 年度事業計画及び同収支予算報告の件

(2) 理事会

①日 時 令和 6 年 5 月 21 日 12 : 45～13 : 45
場 所 霞山会館「霞山の間」及び Web 会議システムの併用により開催
議 題 (1) 令和 5 年度事業報告及び決算（案）について
(2) 理事選任（案）について
(3) 定時総会の招集（案）について
(4) 幹事の推薦について
報告事項 (1) 代表理事等の職務執行状況
(2) 令和 5 年度 青少年創造性開発育成事業へのご協賛
(3) その他

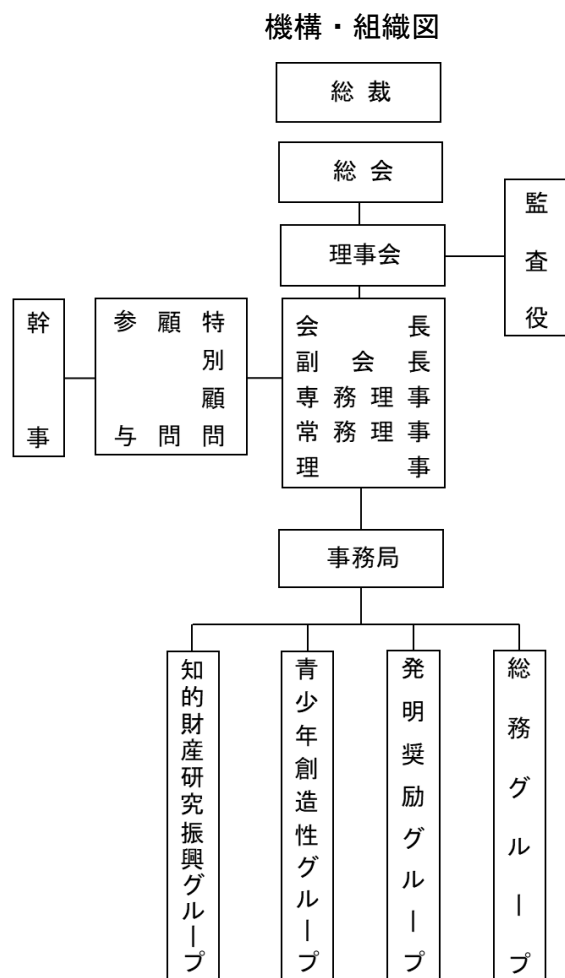
②日 時 令和 6 年 6 月 27 日 14 : 05～14 : 15
場 所 霞山会館「霞山の間」及び Web 会議システムの併用により開催
議 題 (1) 常務理事の選定について
(2) 特別顧問、顧問及び参与の推薦について
(3) 幹事の推薦について

③日 時 令和 7 年 3 月 18 日 12 : 30～13 : 20
場 所 霞山会館「霞山の間」及び Web 会議システムの併用により開催
議 題 令和 7 年度事業計画・同収支予算（案）について
報告事項 (1) 代表理事等の職務執行状況
(2) その他

6. 登 記 事 項

理事変更登記 令和 6 年 8 月 1 日

7. 組織及び職員数 （令和7年3月31日現在）



職員数 16 名

8. 恩賜発明賞・恩賜記念賞の贈呈

皇室より御下賜金を拝受し、令和 6 年度全国発明表彰において、独創性に富む極めて優れた発明により我が国科学技術の振興と産業の発展に大きく貢献した発明者に恩賜発明賞を贈り、その栄誉を讃えた。また、第 83 回全日本学生児童発明くふう展において、最も優秀な作品を恩賜記念賞に選定した。

○恩賜発明賞 「HIV インテグラーゼ阻害剤ドルテグラビルの発明」

川筋 孝 塩野義製薬株式会社

埤田 善之 塩野義製薬株式会社

大司 照彦 塩野義製薬株式会社

Brian Alvin Johns Bii Biosciences

○恩賜記念賞 「光触媒パワーで世界初の害虫アリ定着予防『キラ星の砂』」

正能 佳明 品川区立第三日野小学校 4 年

9. 発明奨励振興事業

(1) 全国発明表彰

主催 発明協会

後援 文部科学省、経済産業省、特許庁、世界知的所有権機関、
日本経済団体連合会、日本商工会議所、日本弁理士会、朝日新聞社

令和 6 年度は、地域の発明協会、関係団体等からの推薦により専門部会を経て、令和 6 年 4 月に選考委員会を開催し、第 1 表彰区分において恩賜発明賞、内閣総理大臣賞等の特別賞ほか各賞、第 2 表彰区分において未来創造発明奨励賞を選考した。

表彰式は、当協会創立 120 周年記念式典に併せ令和 6 年 7 月 11 日、オウクラ東京において、文部科学省の塩見研究振興局長、特許庁の滝澤総務部長をはじめとする来賓の参列を得て挙行し、内閣総理大臣賞以下の各賞、恩賜発明賞受賞者に畠山一清賞、特別賞・未来創造発明奨励賞受賞者に発明奨励金を贈呈した。

なお、恩賜発明賞は正仁親王妃華子殿下の御臨席の下で挙行了た記念式典において授与した。

○第 1 表彰区分

恩賜発明賞	1 件 4 名	特別賞	10 件 28 名
-------	---------	-----	-----------

発明賞	10 件 29 名	発明実施功績賞※1	11 件 12 名
-----	-----------	-----------	-----------

○第 2 表彰区分

未来創造発明賞	該当なし	未来創造発明奨励賞	2 件 12 名
---------	------	-----------	----------

未来創造発明貢献賞※2	2 件 4 名
-------------	---------

○発明奨励功労賞 16 名

※1 恩賜発明賞、特別賞を受賞する法人の代表者に贈呈

※2 未来創造発明奨励賞を受賞する法人の代表者に贈呈

(2) 地方発明表彰

主催 発明協会
共催 46 道府県発明協会
後援 文部科学省、特許庁、中小企業庁、各経済産業局、北海道、青森県、新潟県、岐阜県、奈良県、広島県、高知県、大分県、日本弁理士会、工業所有権電子情報化センター

令和 6 年度は、地域の発明協会より多数推薦された中から、令和 6 年 7 月に開催した中央選考委員会及び 8 月に 8 ブロックで開催した地方選考委員会において各賞を選考した。

表彰式は、10 月下旬から 11 月下旬にかけて以下のとおり挙行し、計 436 件、1,214 名を表彰した。

・北海道地方発明表彰式	10 月 24 日	北海道帯広市
・東北地方発明表彰式	11 月 6 日	青森県青森市
・関東地方発明表彰式	11 月 15 日	新潟県新潟市
・中部地方発明表彰式	11 月 21 日	岐阜県岐阜市
・近畿地方発明表彰式	11 月 28 日	奈良県奈良市
・中国地方発明表彰式	11 月 12 日	広島県広島市
・四国地方発明表彰式	11 月 27 日	高知県高知市
・九州地方発明表彰式	11 月 15 日	大分県大分市

(3) 「戦後日本のイノベーション 100 選」特設サイトの運営

戦後日本で成長を遂げ、我が国産業経済の発展に貢献したイノベーションを紹介する特設サイトの運営を行った。

10. 青少年創造性開発育成事業

(1) 第 83 回全日本学生児童発明くふう展

主催 発明協会
後援 文部科学省、経済産業省、特許庁、世界知的所有権機関、日本弁理士会、NHK、毎日新聞社、日本科学技術振興財団・科学技術館、全国連合小学校長会、全日本中学校長会、全国高等学校長協会、全国工業高等学校長協会

令和 6 年度は、各地域で開催された発明くふう展等において優秀な成績を収めた作品のうち地域の発明協会より推薦された作品を中心に 750 点の応募があった。これらの作品について、令和 7 年 1 月 9 日に審査幹事会、同月 24 日に審査委員会を開催し、恩賜記念賞、内閣総理大臣賞等の特別賞ほか各賞を決定した。

令和 7 年 3 月 28 日には、科学技術館において、正仁親王妃華子殿下御臨席の下、野中文部科学副大臣、古賀経済産業副大臣をはじめ来賓多数の参列を得て作品御覧が行われ、その後表彰式を挙行した。

翌 29 日から 30 日には、同館イベントホールにおいて展覧会を開催（「第 47 回未来の科学の夢絵画展」と同時開催）した。

- ・第 83 回全日本学生児童発明くふう展入賞作品

○恩賜記念賞 1 点 ○特別賞 13 点 ○奨励賞 20 点 ○入選 122 点

(2) 第 47 回未来の科学の夢絵画展

主催 発明協会

後援 文部科学省、経済産業省、特許庁、日本弁理士会、NHK、
朝日新聞社、朝日小学生新聞、朝日中高生新聞、
日本美術教育連合、美育文化協会

令和 6 年度は、全国の小・中学校、幼稚園・保育園及び外国人学校の児童生徒から応募のあった 7,739 点の作品について令和 7 年 2 月 6 日に開催した審査委員会において文部科学大臣賞等の特別賞ほか各賞を選考した。

令和 7 年 3 月 28 日には、科学技術館サイエンスホールにおいて、文部科学省の水野振興企画課奨励室長、特許庁の田岡総務部総務課長をはじめ来賓多数の参列を得て表彰式を挙行了。

翌 29 日から 30 日には、同館イベントホールにおいて展覧会を開催（「第 83 回全日本学生児童発明くふう展」と同時開催）した。

- ・「小学校・中学校の部」

○特別賞 11 点 ○優秀賞 49 点 ○奨励賞 81 点

- ・「幼稚園・保育園の部」

○特別賞 1 点 ○優秀賞 5 点 ○奨励賞 40 点

- ・「外国人学校の部」

○特別賞 1 点 ○優秀賞 5 点 ○奨励賞 10 点

(3) 未来の科学の夢絵画展 ネット美術館

本絵画展の受賞作品と各国の公益機関等から推薦を受けた青少年の絵画作品をネット美術館（Web サイト）に掲載し、広く一般に本事業の成果を発信した。

(4) 少年少女発明クラブ事業

①少年少女発明クラブ

次代を担う青少年の創造性を育成するため、全国各地域の少年少女発明クラブにおいて活動を行った。なお、令和 6 年度は 3 クラブが新規に活動を開始した。

- ・少年少女発明クラブ設置数：211 クラブ（令和 7 年 3 月 31 日現在）
- ・クラブ員数：約 9,000 名
- ・指導員数：約 2,500 名

②少年少女発明クラブ全国会議

少年少女発明クラブの活動方法等についての研究討議を行うとともに、運営等についての情報交換を図るため、第 87 回少年少女発明クラブ全国会議を東京都で開催した。本会議では、発明クラブ事業開始から 50 年の節目を記念して、ノーベル化学賞受賞者の野依良治氏による特別講演や、発明クラブの持続的発展と地域連携の重要性をテーマにしたパネルディスカッションを行った。

- ・開催日：令和 6 年 9 月 17 日
- ・会 場：AP 新橋
- ・出席者：全国各少年少女発明クラブ会長、指導員、地域の発明協会担当者等 116 名

③少年少女発明クラブ指導員表彰

少年少女発明クラブにおける指導に多年従事し、青少年の創造性開発育成に関し特に功績のあった指導員 60 名（41 クラブ）に対し、感謝状を贈呈した。

④少年少女発明クラブ指導員研修会

少年少女発明クラブ指導員の資質の向上と情報交換を目的とした都道府県別研修会（10 か所）及びブロック研修会（3 か所）を開催した。

⑤少年少女発明クラブニュースの発行

少年少女発明クラブにおける創意工夫活動の成果、各種イベントの告知・報告等を掲載した「少年少女発明クラブニュース」を隔月（計 6 回）で発行し、全国の少年少女発明クラブ、地域の発明協会、地方自治体、科学館等を通じて広く一般に配布した。

⑥「はつめいキッズ」ホームページの運営

青少年の創造性開発育成活動の成果普及を図ることを目的に、少年少女発明クラブをはじめとした本事業全般を紹介するホームページ「はつめいキッズ」を運営した。

*本事業の①、②、⑤については、競輪の補助を受けて実施した。

(5) 第 12 回全国少年少女チャレンジ創造コンテスト

- 主催 発明協会
- 共催 愛知県
- 後援 文部科学省、経済産業省、特許庁、日本弁理士会、NHK、
全国連合小学校長会、全日本中学校長会
- 特別協賛 株式会社荏原製作所

令和 6 年 9 月 27 日に開催したコンテスト委員会において、地区大会（49 地区）に参加した 367 チームから全国大会に出場する 60 チームを選考した。

全国大会は、令和 6 年 12 月 13 日に Aichi Sky Expo 展示ホール D において開催し、全チームの競技終了後、文部科学大臣賞、特許庁長官賞の特別賞ほか各賞を選考した。その後、愛知県の大村知事をはじめ来賓多数の参列を得て表彰式を挙行了した。

*本事業は、競輪の補助を受けて実施した。

(6) 東京都児童生徒発明くふう展

東京都からの委託事業として、第 67 回東京都児童生徒発明くふう展を開催した。展覧会は港区立みなと科学館において令和 6 年 12 月 4 日～7 日にかけて開催し、特別賞 12 点、優秀賞 22 点、入選 56 点の計 90 点を展示した。また、最終日の 7 日には同科学館プラネタリウムホールにおいて表彰式を開催した。

(7) 青少年創造性開発育成海外交流

世界青少年発明工夫展（IEYI）は、台湾にて 5 年ぶりの現地開催となり、ビデオ審査部門も加えた 2 部門で開催された（主催：台湾創意発展協会）。

日本からは、第82回全日本学生児童発明くふう展、第46回未来の科学の夢絵画展及び第11回全国少年少女チャレンジ創造コンテストにおいて優秀な成績を収めた青少年25名（創作品14点と絵画11点）が参加し、英語による作品紹介等を行い、以下の各賞を受賞した。

・日本メンバー受賞結果（現地審査・ビデオ審査合計）

○金賞 7 点 ○銀賞 12 点 ○銅賞 3 点 ○特別賞 2 点

＊本事業は、競輪の補助を受けて実施した。

(8) 発明の日及び科学技術週間協賛事業

発明の日（4 月 18 日）及び科学技術週間協賛事業として、地域の発明協会及び全国の少年少女発明クラブにおいて公開発明教室、発明クラブ作品展等を行い、多数の参加を得てモノづくりへの興味・関心を高めた。

(9) 青少年創造性開発育成委員会

青少年創造性開発育成事業の拡充・強化等について審議を行うため、「第 44 回青少年創造性開発育成委員会」を令和 7 年 3 月 6 日に開催した。

(10) 青少年創造性開発育成事業へのご協賛

当協会が行う青少年創造性開発育成事業について、広く産業界等からの事業協賛を募り同事業の更なる充実を図った。

令和 6 年度においては、以下の協賛を得た。

- ・ゴールドスポンサー 13 社・団体
- ・シルバースポンサー 13 社
- ・ブロンズスポンサー 25 社

11. 知的財産権制度普及等事業

国際知的財産保護フォーラム（IIPPF）の活動に企画委員として参画した。また、IIPPF 会員企業等の協力を得て、真正品、模倣品・海賊版等の展示を以下の各イベントにおいて実施し、知的財産保護への意識向上を図った。

「ホンモノ？ニセモノ？君はわかるかな？」の展示説明

・令和 7 年 3 月 29 日～30 日

「第 83 回全日本学生児童発明くふう展」「第 47 回未来の科学の夢絵画展」展覧会

「真正品、模倣品・海賊版」の展示説明

・令和 6 年 7 月 24 日

中央区（東京都）主催 「出張！ I P カルチャー教室」

・令和 6 年 9 月 14 日

中央区（東京都）主催 「中央区児童生徒発明くふう展」

12. 創立120周年記念式典・記念祝賀会

令和6年7月11日に正仁親王妃華子殿下の御臨席を仰ぎ、オークラ東京において特別功労者、全国発明表彰受賞者及び各界からの来賓、関係者約500名の列席の下、創立120周年記念式典を開催した。

式典において、野間口有氏（前 発明協会会長）、末松安晴氏（前 全国発明表彰選考委員会委員長）、清水康敬氏（前 全日本学生児童発明くふう展審査委員長）及び小林昭子氏の4名に対し特別功労者感謝状を贈呈したほか、全国発明表彰の恩賜発明賞受賞者に対し賞状を授与した。

主な来賓（敬称略）：

森屋宏（内閣官房副長官）、海江田万里（衆議院副議長）、長浜博行（参議院副議長）、岡村和美（最高裁判所判事）、今枝宗一郎（文部科学副大臣）、岩田和親（経済産業副大臣）、滝澤豪（特許庁総務部長）、澤井智毅（WIPO日本事務所所長）、岩村有広（日本経済団体連合会常務理事）、畠山一成（日本商工会議所常務理事）、鈴木一永（日本弁理士会会長）、中村史郎（朝日新聞社代表取締役会長）

13. 地域機関との相互連携

発明協会会長等懇談会

全国で開催される地方発明表彰式に併せ、令和 6 年 10 月下旬から 11 月下旬にかけて地域協会会長等との懇談会を開催し意見交換を行った。

懇談会は、関東地方を除く北海道地方・10 月 24 日、東北地方・11 月 6 日、中部地方・11 月 21 日、近畿地方・11 月 28 日、中国地方・11 月 12 日、四国地方・11 月 27 日、九州地方・11 月 15 日の 7 地方で開催した。

14. 関係省庁への協力

(1) 文部科学省表彰関係事業への協力

科学技術の振興と発明の普及に寄与するため、叙勲、褒章及び文部科学大臣表彰科学技術賞（開発部門、技術部門等）の表彰対象者の調査・推薦を行った。

(2) 特許庁知財功労賞等への協力

経済産業省・特許庁による「知的財産権制度関係功労者表彰」、「知的財産権制度活用優良企業等表彰」の候補者・候補企業及び農林水産省による「農林水産・食品分野における知的財産権制度活用優良企業等表彰」の候補企業の調査・推薦を行った。

15. 東京発明推進協議会の活動

令和 7 年 1 月 16 日に霞山会館において新年賀詞交歓会を開催し、会員、来賓等との交流を図った。

16. 公益事業の広報活動

当協会機関紙「月報はつめい」を会員に配布するとともにホームページにおいて広報活動に努めた。

I－II．事業報告書の附属明細書

令和6年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和7年5月

公益社団法人 発明協会

貸借対照表

令和7年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金及び預金	50,101,848	78,025,951	△ 27,924,103
未収入金	41,167,672	22,479,112	18,688,560
預け金	1,603,834	1,876,359	△ 272,525
前払費用	86,730	86,730	0
流動資産合計	92,960,084	102,468,152	△ 9,508,068
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当資産	18,495,833	13,670,833	4,825,000
特定資産合計	18,495,833	13,670,833	4,825,000
(2) その他固定資産			
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	18,495,833	13,670,833	4,825,000
資産合計	111,455,917	116,138,985	△ 4,683,068
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	16,480,653	16,499,930	△ 19,277
未払金	54,274,197	52,244,306	2,029,891
前受金	13,570,000	9,870,000	3,700,000
預り金	593,876	497,197	96,679
流動負債合計	84,918,726	79,111,433	5,807,293
2. 固定負債			
退職給付引当金	18,495,833	13,670,833	4,825,000
固定負債合計	18,495,833	13,670,833	4,825,000
負債合計	103,414,559	92,782,266	10,632,293
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
2. 一般正味財産	8,041,358	23,356,719	△ 15,315,361
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	8,041,358	23,356,719	△ 15,315,361
負債及び正味財産合計	111,455,917	116,138,985	△ 4,683,068

正味財産増減計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
〔1〕経常増減の部			
1. 経常収益			
(1) 御下賜金	50,000	50,000	0
(2) 受取会費	28,490,000	28,950,000	△ 460,000
(3) 事業収益	2,941,636	2,908,636	33,000
① 発明奨励振興事業収益	(2,941,636)	(2,908,636)	(33,000)
(4) 受取補助金等	22,625,219	19,473,557	3,151,662
① JKA補助金	(22,625,219)	(19,473,557)	(3,151,662)
(5) 受取寄附金・受取協賛金等	256,007,273	252,272,727	3,734,546
① 資金寄附収益	(186,360,000)	(185,000,000)	(1,360,000)
② 協賛金収益	(42,727,273)	(37,272,727)	(5,454,546)
③ 資金寄附振替額	(26,920,000)	(30,000,000)	(△ 3,080,000)
(6) 雑収益	269,419	9,108,271	△ 8,838,852
① 雑収益	(258,432)	(9,108,116)	(△ 8,849,684)
② 受取利息	(10,987)	(155)	(10,832)
経常収益計	310,383,547	312,763,191	△ 2,379,644
2. 経常費用			
(1) 事業費	266,711,748	262,721,364	3,990,384
① 発明奨励振興事業費	(159,737,896)	(153,049,013)	(6,688,883)
② 事業人件費	(91,903,520)	(91,802,684)	(100,836)
③ 事業事務費	(15,070,332)	(17,869,667)	(△ 2,799,335)
(2) 管理費	58,987,160	47,780,070	11,207,090
① 人件費	(12,721,475)	(10,578,123)	(2,143,352)
② 事務費	(46,265,685)	(37,201,947)	(9,063,738)
経常費用計	325,698,908	310,501,434	15,197,474
当期経常増減額	△ 15,315,361	2,261,757	△ 17,577,118
〔2〕経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 15,315,361	2,261,757	△ 17,577,118
一般正味財産期首残高	23,356,719	21,094,962	2,261,757
一般正味財産期末残高	8,041,358	23,356,719	△ 15,315,361
II 指定正味財産増減の部			
(1) 受取寄附金	26,920,000	30,000,000	△ 3,080,000
① 資金寄附	(26,920,000)	(30,000,000)	(△ 3,080,000)
(2) 一般正味財産への振替額	△ 26,920,000	△ 30,000,000	3,080,000
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	8,041,358	23,356,719	△ 15,315,361

正味財産増減計算書内訳表

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引 等消去	合計
	公1 発明奨励等	小計			
I 一般正味財産増減の部					
[1]経常増減の部					
1. 経常収益					
(1) 御下賜金	50,000	50,000	0		50,000
(2) 受取会費	14,245,000	14,245,000	14,245,000		28,490,000
(3) 事業収益	2,941,636	2,941,636	0		2,941,636
① 発明奨励振興事業収益	(2,941,636)	(2,941,636)	(0)		(2,941,636)
(4) 受取補助金等	22,625,219	22,625,219	0		22,625,219
① JKA補助金	(22,625,219)	(22,625,219)	(0)		(22,625,219)
(5) 受取寄附金・受取協賛金等	226,849,893	226,849,893	29,157,380		256,007,273
① 資金寄附収益	(157,202,620)	(157,202,620)	(29,157,380)		(186,360,000)
② 協賛金収益	(42,727,273)	(42,727,273)	(0)		(42,727,273)
③ 資金寄附振替額	(26,920,000)	(26,920,000)	(0)		(26,920,000)
(6) 雑収益	0	0	269,419		269,419
① 雑収益	(0)	(0)	(258,432)		(258,432)
② 受取利息	(0)	(0)	(10,987)		(10,987)
経常収益計	266,711,748	266,711,748	43,671,799		310,383,547
2. 経常費用					
(1) 事業費	266,711,748	266,711,748	0		266,711,748
① 発明奨励振興事業費	(159,737,896)	(159,737,896)	(0)		(159,737,896)
② 事業人件費	(91,903,520)	(91,903,520)	(0)		(91,903,520)
③ 事業事務費	(15,070,332)	(15,070,332)	(0)		(15,070,332)
(2) 管理費	0	0	58,987,160		58,987,160
① 人件費	(0)	(0)	(12,721,475)		(12,721,475)
② 事務費	(0)	(0)	(46,265,685)		(46,265,685)
経常費用計	266,711,748	266,711,748	58,987,160		325,698,908
当期経常増減額	0	0	△ 15,315,361		△ 15,315,361
[2]経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0		0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0		0
当期経常外増減額	0	0	0		0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	0	0	△ 15,315,361		△ 15,315,361
他会計振替額	0	0	0		0
当期一般正味財産増減額	0	0	△ 15,315,361		△ 15,315,361
一般正味財産期首残高	0	0	23,356,719		23,356,719
一般正味財産期末残高	0	0	8,041,358		8,041,358
II 指定正味財産増減の部					
(1) 受取寄附金	26,920,000	26,920,000	0		26,920,000
① 資金寄附	(26,920,000)	(26,920,000)	(0)		(26,920,000)
(2) 一般正味財産への振替額	△ 26,920,000	△ 26,920,000	0		△ 26,920,000
当期指定正味財産増減額	0	0	0		0
指定正味財産期首残高	0	0	0		0
指定正味財産期末残高	0	0	0		0
III 正味財産期末残高	0	0	8,041,358		8,041,358

財 務 諸 表 に 対 す る 注 記

1. 継続組織の前提に関する注記

継続組織の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象または状況は存在しない。

2. 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準

退職給付引当金: 役員退職手当金については、役員の退職手当金支給に備えるため、規則に基づく期末要支給額を計上

(2) 消費税等の会計処理

税抜方式によっている。

3. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位: 円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	13,670,833	4,825,000	0	18,495,833
合 計	13,670,833	4,825,000	0	18,495,833

4. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位: 円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
特定資産				
退職給付引当資産	18,495,833	(—)	(—)	(18,495,833)
合 計	18,495,833	(—)	(—)	(18,495,833)

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位: 円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の 記載区分
補助金						
2024年度公益事業振興補助事業	公益財団法人JKA	0	22,625,219	22,625,219	0	—
合 計		0	22,625,219	22,625,219	0	

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位: 円)

内 容	金額
経常収益への振替額 資金寄附振替額	26,920,000
合 計	26,920,000

附 属 明 細 書

1. 特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載のとおりである。

2. 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当 期 減 少 額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	13,670,833	4,825,000	0	0	18,495,833

財 産 目 録

令和7年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)			
現金	手元保管	運転資金として	881,391
預金	当座預金(三井住友銀行本店営業部)	運転資金として	32,435,413
	普通預金(三井住友銀行本店営業部)	運転資金として	2,306,360
	普通預金(三井住友銀行本店営業部)	運転資金として	1,001,017
	普通預金(三井住友銀行本店営業部)	運転資金として	9,699,682
	普通預金(りそな銀行東京営業部)	運転資金として	71,905
	振替貯金(ゆうちょ銀行本店)	運転資金として	3,706,080
未収入金	公益財団法人 JKA他	公益目的事業に係る補助金他	41,167,672
預け金	小樽少年少女発明クラブ他	公益目的事業に係る運営事業費他	1,603,834
前払費用	役員に対するもの	通勤手当	86,730
流動資産合計			92,960,084
(固定資産)			
特定資産			
退職給付引当資産	当座預金(三井住友銀行本店営業部)	退職給付引当金見合の引当資産	18,495,833
特定資産合計			18,495,833
その他固定資産			
その他固定資産合計			0
固定資産合計			18,495,833
資産合計			111,455,917
(流動負債)			
買掛金	株式会社発明会館他	公益目的事業及び管理業務に係る発送料他	16,480,653
未払金	一般社団法人発明推進協会他	公益目的事業及び管理業務に係る出向料他	54,274,197
前受金	会員他	公益目的事業及び管理業務に係る会費他	13,570,000
預り金	芝税務署他	公益目的事業及び管理業務に係る所得税他	593,876
流動負債合計			84,918,726
(固定負債)			
退職給付引当金	役員に対するもの	退職金の支払いに備えるもの	18,495,833
固定負債合計			18,495,833
負債合計			103,414,559
正味財産			8,041,358

収 支 計 算 書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
I 一般正味財産増減の部				
〔1〕経常増減の部				
1. 経常収益				
(1) 御下賜金	50,000	50,000	0	
(2) 受取会費	28,780,000	28,490,000	290,000	
(3) 事業収益	3,408,000	2,941,636	466,364	
① 発明奨励振興事業収益	(3,408,000)	(2,941,636)	(466,364)	
(4) 受取補助金等	31,219,000	22,625,219	8,593,781	
① JKA補助金	(31,219,000)	(22,625,219)	(8,593,781)	
(5) 受取寄附金・受取協賛金等	270,100,000	256,007,273	14,092,727	
① 資金寄附収益	(218,000,000)	(186,360,000)	(31,640,000)	
② 協賛金収益	(32,100,000)	(42,727,273)	(△ 10,627,273)	
③ 資金寄附振替額	(20,000,000)	(26,920,000)	(△ 6,920,000)	
(6) 雑収益	91,000	269,419	△ 178,419	
① 雑収益	(91,000)	(258,432)	(△ 167,432)	
② 受取利息	(0)	(10,987)	(△ 10,987)	
経常収益計	333,648,000	310,383,547	23,264,453	
2. 経常費用				
(1) 事業費	292,585,000	266,711,748	25,873,252	
① 発明奨励振興事業費	(185,056,000)	(159,737,896)	(25,318,104)	
② 事業人件費	(90,233,000)	(91,903,520)	(△ 1,670,520)	
③ 事業事務費	(17,296,000)	(15,070,332)	(2,225,668)	
(2) 管理費	53,525,000	58,987,160	△ 5,462,160	
① 人件費	(9,647,000)	(12,721,475)	(△ 3,074,475)	
② 事務費	(43,878,000)	(46,265,685)	(△ 2,387,685)	
経常費用計	346,110,000	325,698,908	20,411,092	
当期経常増減額	△ 12,462,000	△ 15,315,361	2,853,361	
〔2〕経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 12,462,000	△ 15,315,361	2,853,361	
一般正味財産期首残高	3,171,000	23,356,719	△ 20,185,719	
一般正味財産期末残高	△ 9,291,000	8,041,358	△ 17,332,358	
II 指定正味財産増減の部				
(1) 受取寄附金	20,000,000	26,920,000	△ 6,920,000	
① 資金寄附	(20,000,000)	(26,920,000)	(△ 6,920,000)	
(2) 一般正味財産への振替額	△ 20,000,000	△ 26,920,000	6,920,000	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	△ 9,291,000	8,041,358	△ 17,332,358	

(説明資料)

収 支 計 算 書 (資 金 ベ ー ス)

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

No.	科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
	I 事業活動収支の部				
	1. 事業活動収入				
1	(1) 御下賜金	50,000	50,000	0	
2	(2) 会費収入	28,780,000	28,490,000	290,000	
3	(3) 事業収入	3,408,000	2,941,636	466,364	
4	① 発明奨励振興事業収入	(3,408,000)	(2,941,636)	(466,364)	
5	(4) 補助金等収入	31,219,000	22,625,219	8,593,781	
6	① JKA補助金収入	(31,219,000)	(22,625,219)	(8,593,781)	
7	(5) 寄附金・協賛金収入	270,100,000	256,007,273	14,092,727	
8	① 資金寄附収入	(238,000,000)	(213,280,000)	(24,720,000)	
9	② 協賛金収入	(32,100,000)	(42,727,273)	(△ 10,627,273)	
10	(6) 雑収入	91,000	269,419	△ 178,419	
11	① 雑収入	(91,000)	(258,432)	(△ 167,432)	
12	② 受取利息	(0)	(10,987)	(△ 10,987)	
13	事業活動収入計	333,648,000	310,383,547	23,264,453	
	2. 事業活動支出				
14	(1) 事業費支出	289,096,000	263,396,973	25,699,027	
15	① 発明奨励振興事業支出	(185,056,000)	(159,737,896)	(25,318,104)	
16	② 事業人件費	(90,233,000)	(91,903,520)	(△ 1,670,520)	
17	③ 事業事務費	(13,807,000)	(11,755,557)	(2,051,443)	
18	(2) 管理費支出	52,189,000	57,476,935	△ 5,287,935	
19	① 人件費	(9,647,000)	(12,721,475)	(△ 3,074,475)	
20	② 事務費	(42,542,000)	(44,755,460)	(△ 2,213,460)	
21	事業活動支出計	341,285,000	320,873,908	20,411,092	
22	事業活動収支差額	△ 7,637,000	△ 10,490,361	2,853,361	
	II 投資活動収支の部				
	1. 投資活動収入				
23	(1) 特定資産取崩収入	0	0	0	
24	投資活動収入計	0	0	0	
	2. 投資活動支出				
25	(1) 特定資産支出	4,825,000	4,825,000	0	
26	投資活動支出計	4,825,000	4,825,000	0	
27	投資活動収支差額	△ 4,825,000	△ 4,825,000	0	
28	当期収支差額	△ 12,462,000	△ 15,315,361	2,853,361	
29	前期繰越収支差額	3,171,000	23,356,719	△ 20,185,719	
30	次期繰越収支差額	△ 9,291,000	8,041,358	△ 17,332,358	

以上の通り相違ありません。

令和7年5月16日

公益社団法人 発 明 協 会

会 長 内 山 田 竹 志

令和5年度事業報告書及び財務諸表について監査した結果、いずれも適正かつ適法であることを認めます。

令和7年5月16日

監査役 石 井 宏 治

監査役 梶 原 徳 二